

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010334

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】 舗装補修工事(路上路盤再生工) 曙5号線 L=400m、W=5.5m
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路ストック総点検事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	各施設点検項目数・舗装補修延長		#N/A	
事業目標	6項目・470m	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	【平成26年度】 道路ストック総点検 舗装101.3km、照明108基、法面15箇所、 防雪柵506基、大型視線誘導標62基、 大型標識10基		・舗装 101.3km ・照明 128基 ・法面 1,200㎡ ・防雪柵 2,000m ・大型視線誘導標 121基 ・大型標識 10基	・舗装補修工法検討 3路線 ・法面 24箇所	・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m	・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=350m、W=7.0m
	【平成27年度】 ・舗装補修工法検討:3路線、法面点検:24箇所					
	【平成28年度】 舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m					
	【平成29年度】 舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=350m、W=7.0m					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	51,900	0	32,500	3,400	4,000
	財源内訳					
	国庫支出金	36,330		22,750	2,380	2,800
	道支出金	0				
	地方債	4,800				1,200
その他	0					
一般財源	10,770		9,750	1,020		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	38,178	0	31,158	3,132	3,888
	財源内訳					
	国庫支出金	26,724		21,811	2,192	2,721
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	11,454		9,347	940	1,167	
特 定 財 源	特定財源の名称 社会資本整備総合交付金 (補助率7/10) 地方債(過疎)100%	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		【繰越明許分;H25補正】 ・舗装101.3km ・照明111基 ・法面15箇所 ・防雪柵506基 ・大型視線誘導標 65基 ・大型標識 10基	・舗装補修工法検討 3路線 ・法面 24箇所	・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値		6項目	舗装補修工法検討3路線、法面24箇所	舗装補修延長120m	舗装補修延長350m
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	96%	92%	97%	0%
	全体達成率	0%	60%	66%	74%	74%
	備考欄					

事業名	道路ストック総点検事業	評価者	管理職 職氏名	建設水道課長	田原慎也
		評価者	作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説) ① 舗装補修延長数/舗装補修延長 ②	舗装補修延長	
【抱える課題やニーズは】	道路施設の老朽化に伴う道路利用者への被害		目標年度	平成28年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	安全な通行の確保		目標値	120 m
			実績値	120 m
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	道路利用者の安全な通行の確保		達成度	100.0 %
		目標年度	平成28年度	
		目標値	箇所	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間委託による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し舗装補修を実施した。	実績値	箇所
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道の安全な通行を確保するため、道路の舗装補修を実施することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、町道の安全な通行を確保できたことは、有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業を実施したことで、安全な通行を確保できたことは、効率的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	安全な通行を確保することができたことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
安全な通行の確保を図るためには、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
安全な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止